



野生植物研究所だより



● 裏庭の紅葉 ●

【仕事部屋から見える紅葉】

山では紅葉も終わり加減で紅葉した木の葉もだいぶ落ちてしまいました。研究所の裏庭の木も紅葉が進み、葉がだいぶ散ってしまいましたが、日々移り変わる仕事部屋からの紅葉は、目を楽しませてくれます。仕事部屋からみることができる樹木の種類は、コナラ、ブナ、ヤマモミジ、ハウチワカエデ、アカシデ、マンサク、オヒョウ、ネジキ、サルナシ、クヌギ、サラサドウダン、ナナカマド、マユミ、カツラ、トウゴクミツバツツジ、ケヤキ、カスミザクラをあげることができます。これらの木々はそれぞれ幹の太さや高さ、枝振りそして葉の形や大きさも違います。それらがバランスよく成長し、裏庭を構成しています。その庭の木々が10月初旬からそれぞれの木特有の色彩で紅葉を始めました。その紅葉する様子もその木その木によって千差万別です。



【千差万別の紅葉】

ハウチワカエデ・まず一番に目に飛び込んできます。葉は天狗のうちわのような形をしています。

葉の直径が12cm前後で大きいものは15cmもあります。一枚の葉は黄色く紅葉したもの、黄と赤がまだら模様のもの、葉の先端だけが赤いもの、緑と黄と赤の調和のすばらしいものなど一本の木を見ているだけで感動をおぼえます。

ヤマモミジ・・・明るい小豆色に紅葉しています。陰になった部分はまだ緑の葉も見られます。

マンサク・・・赤黄色に染まった葉は縁が茶色になっているものも見られます。残っている葉は数えられるほどになりました。



カツラ・・・黄色から薄茶色に紅葉した葉の3分の2ほどは散ってしまい、カツラの木の下であまり太陽の光も届かなかつたサラサドウダンやマユミの木にも日がさすようになってきました。

サラサドウダン・・・だいぶ黄色みを帯びてきましたがまだ黄緑色に変化中のものがだいぶ見られます。



ハウチワカエデ



カツラ

マユミ・・・うすい小豆色や薄赤紫の葉がとってもきれいです。

カスミザクラ・・・葉が赤く紅葉し木全体が明るく見えます。

ブナ・・・黄色に紅葉したもの、茶色のもの、まだ黄緑色を残しているものなどあります。

ナナカマド・・・ほとんどの葉が散ってしまい赤茶けた葉が梢の方にわずかに残っているだけです。

紅葉した木々のなかに ほとんど紅葉もせず緑の葉をつけている木もあります。

トウゴクミツバツツジ・・・わずかですが薄黄色になった葉もみられます。

コナラ・・・いまだ青々とした様子です。

【長い時間・・・】

庭のこれらの落葉樹は、32年前 所長の知り合いの方から山の木を譲り受け植木屋を頼んで植えた木です。それらが大きく育ち現在の裏庭になっています。今年3月に教職を退職し、その後研究所での仕事に変わり、じっくりと庭を眺める機会がふえた所長は、落ち葉の匂いをかぎながらこの庭を散策するのを楽しみにしています。



ブナ



マンサク

【連絡先】 〒989-6252 宮城県古川市荒谷字簀ノ子町12-2 ☎ 0229-28-3601 FAX 0229-28-4452

Blog: <http://plaza.rakuten.co.jp/wakichi/> E-mail: nagaguduwakichi@yahoo.co.jp

URL: <http://www.wakichi.com/>